

更新日：2025 年 5 月 16 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称 セットアッパー70K20kg【A 飼料】

製品番号 (SDS NO) : 61443

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：日本全薬工業株式会社

住所：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1 丁目 2 番 6 号 駿河台ビル 2F

担当部署：事業開発部

電話番号(緊急連絡先)：03-5282-2483

FAX：03-3295-0255

本製品に関するその他の情報については、別添資料をご参照ください。

作成日 2025/04/01

改訂日 2025/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	セットアッパー70K(A飼料)
製品コード	H-0330761000Label
供給者の会社名称	東洋電化工業株式会社
住所	〒781-9525 高知市荻町二丁目2番25号
担当部門	品質管理課
電話番号	088-834-4854
FAX番号	088-833-7702
電子メールアドレス	yuji-nomura@toyodenka.co.jp
緊急連絡電話番号	088-834-4854
推奨用途	本製品は家畜用飼料として製造されております。
使用上の制限	推奨用途以外で使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 生殖毒性 区分1B 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H319 強い眼刺激 H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
(P202)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
(P270)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(P280)

応急措置

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
(P301+P312)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。(P308+P313)
口をすすぐこと。(P330)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P337+P313)

保管
廃棄

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

家畜用混合飼料

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化マグネシウム	5.2%	MgO	(1)-465	既存	1309-48-4
硫酸マンガン(Ⅱ)一水和物	0.7%	不明	(1)-477	既存	10034-96-5
ペプチド銅	0.9%	不明	不明	不明	不明

※法的通知義務対象物質のみ表示

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水の噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な
保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
二次災害の防止策

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

保管

接触回避
安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化マグネシウム	未設定	未設定	設定あり
硫酸マンガン(Ⅱ)一水和物	0.05mg/m ³ (Mnとして)	総粉塵0.1mg/m ³ 吸入性粉塵0.02mg/m ³ (Mnとして、有機マンガン化合物を除く)	設定あり
ペプチド銅	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
酸化マグネシウム	未設定	未設定
硫酸マンガン(Ⅱ)一水和物	未設定	未設定
ペプチド銅	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

手の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

皮膚及び身体の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態
形状
色
臭い
融点／凝固点
沸点又は初留点及び沸点範囲
可燃性
爆発下限界及び爆発上限界 下限
／可燃限界
上限
引火点
自然発火点
分解温度
pH
動粘性率
溶解度
n-オクタノール／水分配係数
蒸気圧
密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

固体
固体(ペレット)
灰褐色
若干の臭い
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

情報なし
通常取扱条件において安定である。
熱分解による亜硫酸ガス、硫黄酸化物、ヒューム、リン酸化物、酸化カルシウム
日光、熱、湿気
酸化物、酸類、アルカリ類、ハロゲン
亜硫酸ガス、硫黄酸化物、マンガン・酸化亜鉛ヒューム、リン酸化物、酸化カルシウム

11. 有害性情報

急性毒性
経口
経皮
吸入
皮膚腐食性／皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性
呼吸器感受性

急性毒性推定値が1981.0506225mg/kgのため区分4とした。
データ不足のため分類できない。
(気体)
GHS定義による気体ではない。
(蒸気)
データ不足のため分類できない。
(粉じん・ミスト)
データ不足のため分類できない。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
10×(眼区分1+皮膚区分1)の成分合計が13.79%のため、区分2Aとした。
危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

皮膚感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖毒性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	(生殖毒性) 区分1Bの成分が0.719%のため、区分1Bとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	(生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
12. 環境影響情報	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 短期(急性)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期(慢性)	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。
残留性・分解性	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0.53%のため、区分に該当しないとした。
生体蓄積性	毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
土壤中の移動性	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
オゾン層への有害性	毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
13. 廃棄上の注意	データなし
残余廃棄物	データなし
	データなし
	データなし
	データなし
	データ不足のため分類できない。
14. 輸送上の注意	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
国際規制	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
海上規制情報 Marine Pollutant	非該当 Not applicable

	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令 労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働安全衛生法(令和8年施行追加分)		マンガン及びその無機化合物 銅及びその化合物 名称等を表示および通知すべき危険物及び有害物
毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)		酸化マグネシウム 非該当 非該当
16. その他の情報 連絡先 参考文献		「1. 化学品及び会社情報」に記載 NITE 化学物質総合情報提供システム 職場の安全サイト(厚生労働省) 本SDSは、SDS作成支援ツール「ezSDS」を使用して作成しています。
その他		全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としており、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。